

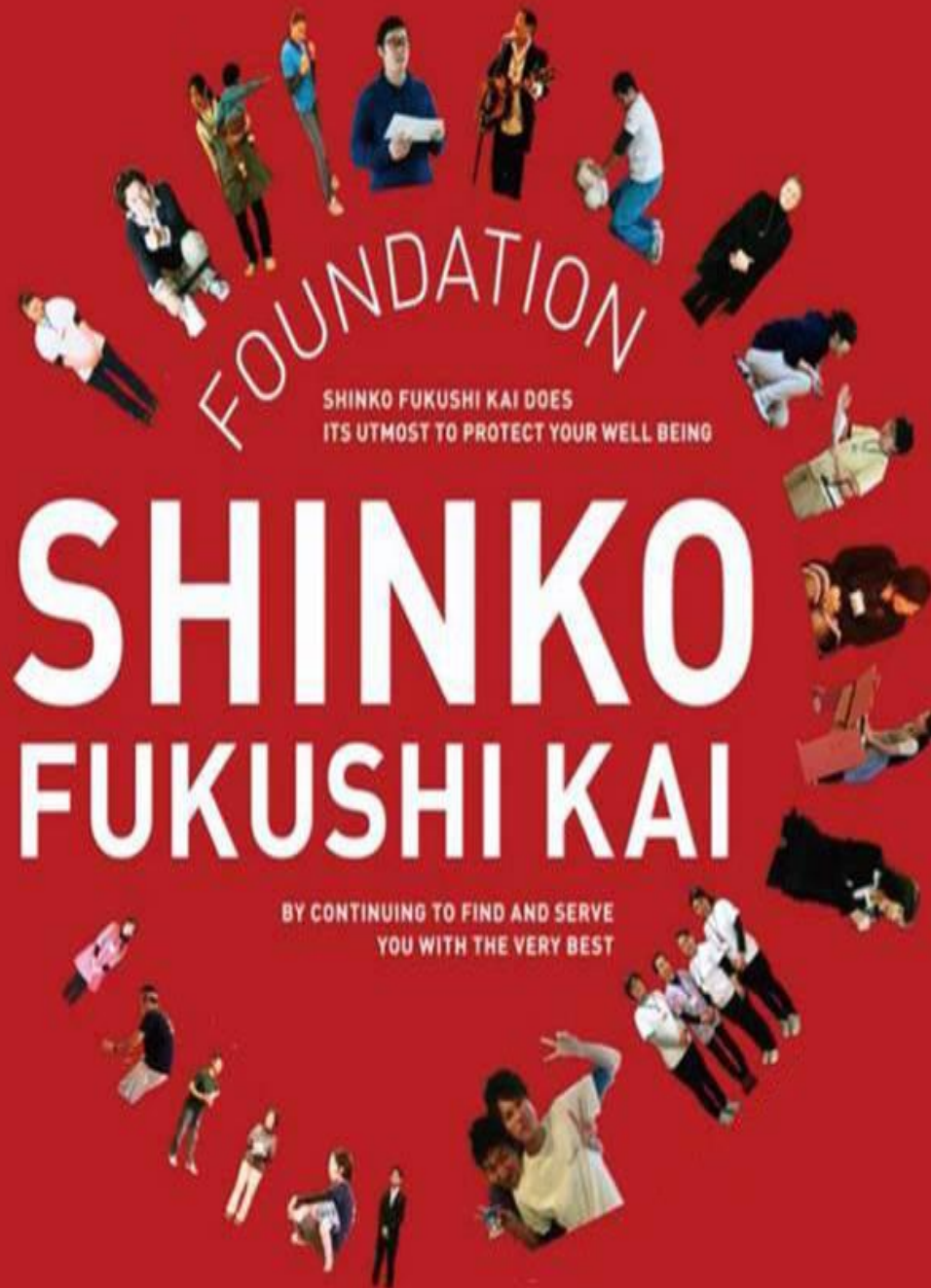
日本の少子高齢化時代に おけるダイバーシティ介護 人材の育成について

前例がない。
だから、やる。

SHINKO
FUKUSHI KAI

社会福祉法人 伸こう福祉会
国際室 林 燕

目次



1 日本の介護人材現状

2 国や地域の取組

3 現場のダイバーシ
ティ人材育成

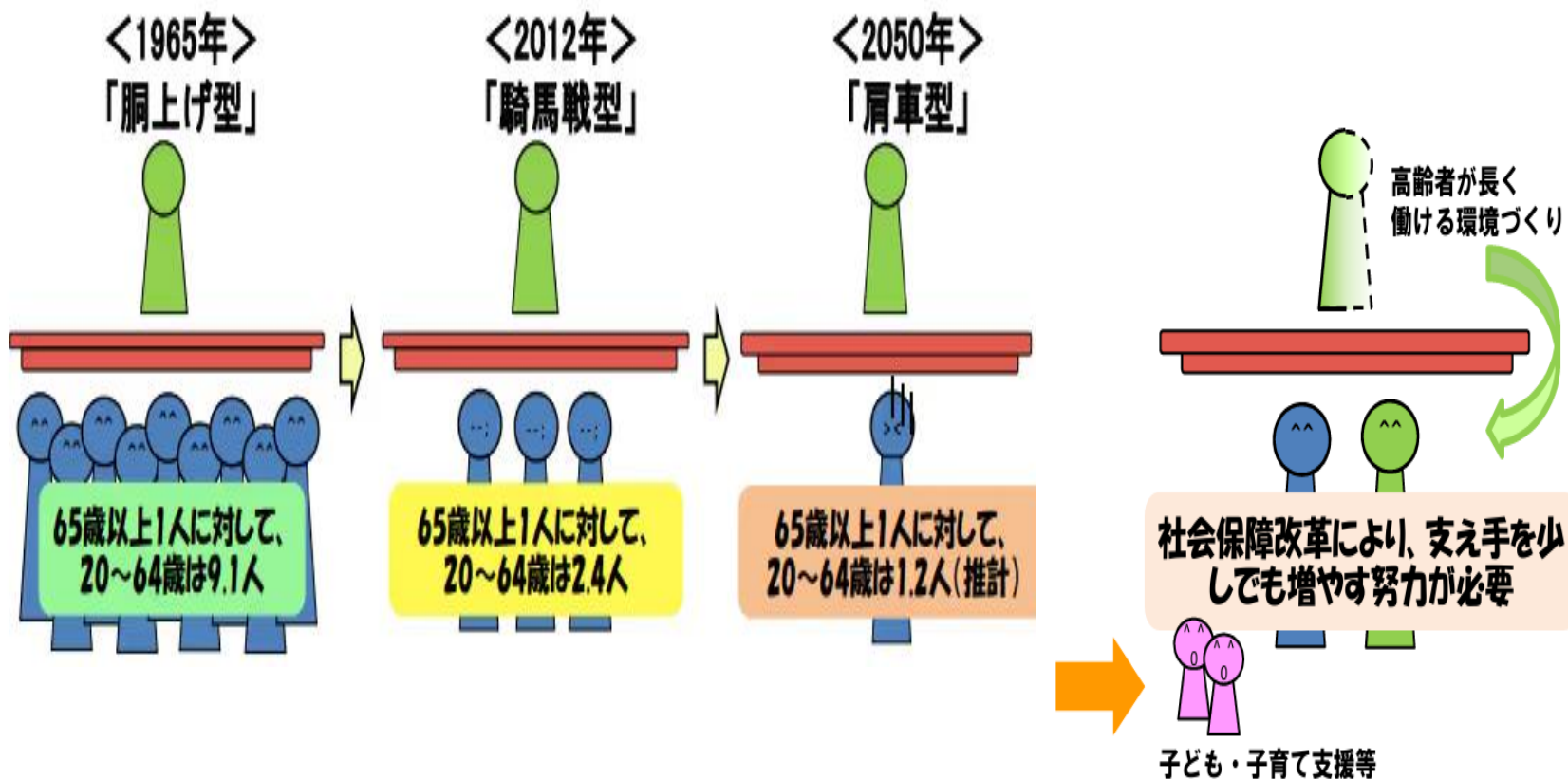
4 伸こう福祉会の取組

5 課題

6 日中介護人材の展望

「肩車型」社会

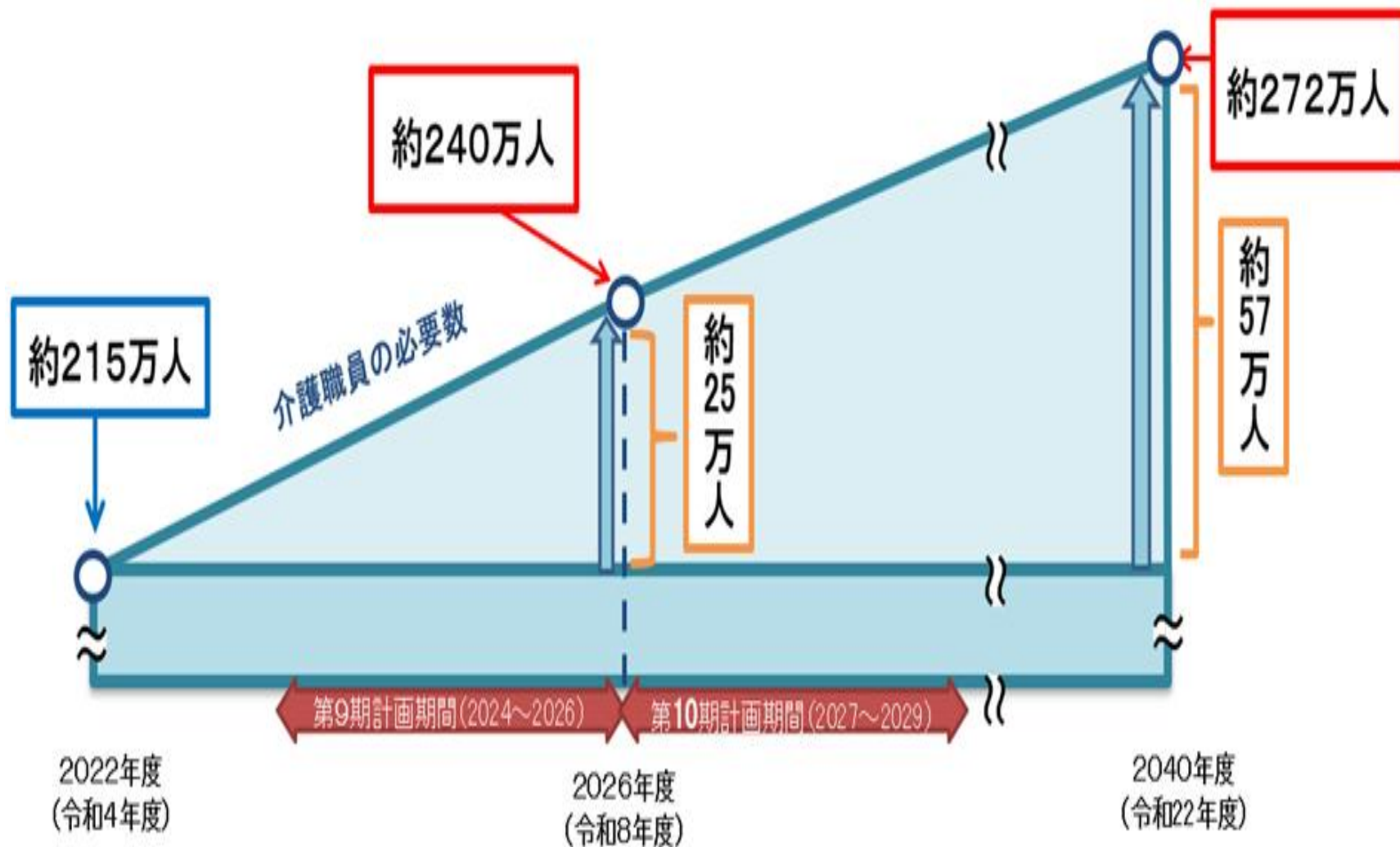
	2012年8月	2015年	2025年	2055年
65歳以上高齢者人口(割合)	3,058万人(24.0%)	3,395万人(26.8%)	3,657万人(30.3%)	3,626万人(39.4%)
75歳以上高齢者人口(割合)	1,511万人(11.8%)	1,646万人(13.0%)	2,179万人(18.1%)	2,401万人(26.1%)



https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/dl/link1-1.pdf

前例がない。
だから、やる。

介護人材の不足状況



前例がない。
だから、やる。

出所：厚生労働省

総合的な介護人材確保対策



- 1 介護職員の処遇改善
- 2 ダイバーシティ人材の確保・育成
- 3 生産性の向上
- 4 介護職の魅力向上
- 5 外国人人材の受入れ環境整備

前例がない。
だから、やる。

ダイバーシティ人材の確保・育成



介護 人材

多様な人材 の採用

- ・退職、休暇
人材再復帰
- ・シルバー人
材の採用
- ・外国人人材
の採用

業務細分化

- ・勤務時間の
多様化
- ・直接ケアと
間接支援業
務の分解
- ・各種補助金
の投入

技術の導入

- ・ICT機械の
活用
- ・介護ロボッ
トの導入
- ・多言語シス
テムの導入

前例がない。
だから、やる。

外国人人材の受入れ環境整備



Crossheart

- 2008年：EPA協定による外国人介護人材受け入れ開始（インドネシア等3国）
- 2017年：技能実習制度に「介護」が追加される
- 2017年：介護ビザが創設
- 2019年：特定技能制度（介護分野含む）がスタート
- 2019年：特定活動46制度がスタート
- 2020年～：ICT導入・介護ロボット導入支援の拡充

前例がない。
だから、やる。

ダイバーシティ人材現状と育成

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
人数	2	199	217	266	330	265	128	6	1413
割合	0.14%	14.08%	15.36%	18.83%	23.35%	18.75%	9.06%	0.42%	100%

職員研修

新任層

新卒研修

新入職研修

中間層

介護基礎研

介護実務者研修

管理層

管理職養成研修

施設長研修

バックアップ

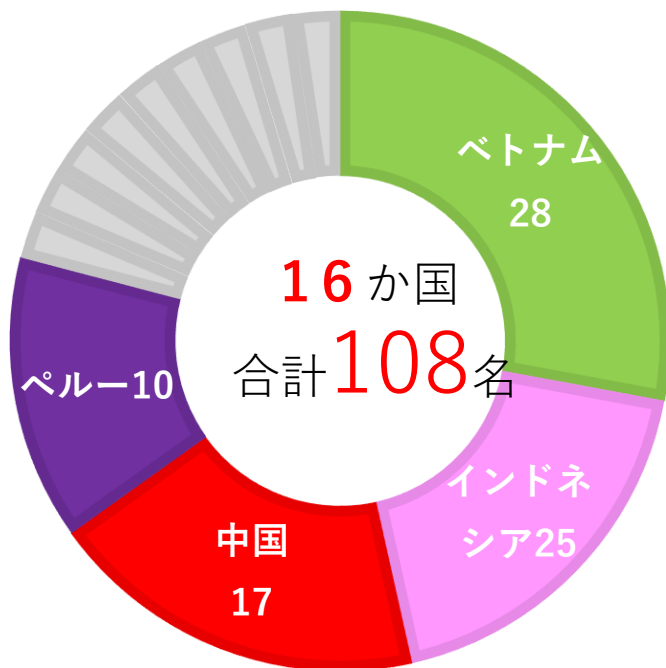
外国籍職員研修

経営自主勉強会「伸こう塾」

前例がない。
だから、やる。

法人内の外国籍スタッフの状況

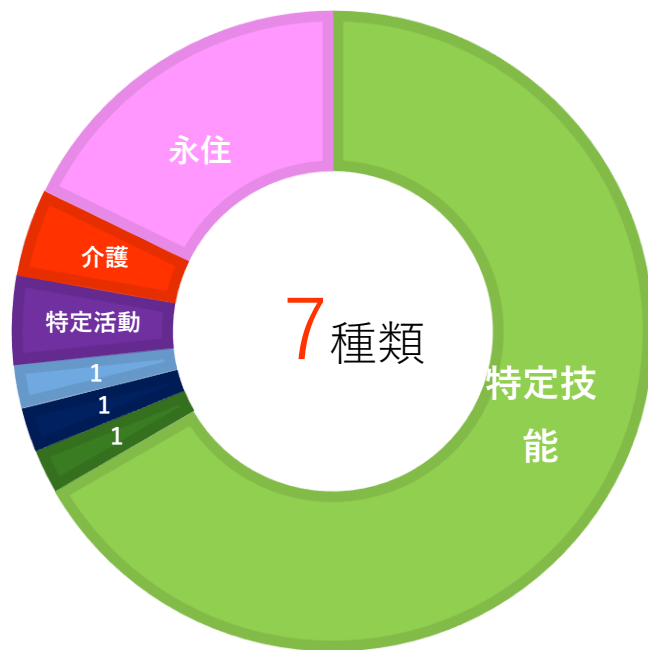
国別人数



その他

ブラジル	台湾
ホンジュラス	アルゼンチン
ベネズエラ	スウェーデン
インドネシア	韓国
カナダ	タイ
グアテマラ	フィリピン

ビザの種類



その他

定住者
留学
日本人の配偶者

定着に向けた取り組み



1. 相談窓口の設置
リーダー担当を決めている
2. 3ヵ月毎に定期面談実施している
＊上長面談、個人面談
3. 資格取得の支援
4. インターナショナルクラブの開催（バス旅行）
5. 住宅手配やビザの更新などの支援
6. 各補助金などの有効活用

前例がない。
だから、やる。

定着に向けた取り組み



7. 年6回実施（奇数月）

- ・人権と尊厳、日本マナー、文化
- ・コミュニケーション力、電話対応
- ・ボディーメカニズムと力の使い方、三大介護
- ・感染症、服薬
- ・リスクマネジメント、事故報告書の書き方
- ・認知症介護について

前例がない。
だから、やる。

研修時写真



Crossheart



前例がない。
だから、やる。

バス旅行時写真



前例がない。
だから、やる。

- ① 中間管理職の育成
- ② 外国人職員の長期休暇問題
- ③ 年齢層が高い職員が多いため、ロボットやICT機械など導入、活用が遅れている
- ④ 介護保険制度が細かいところまで決められているため、個性と柔軟な対応が難しい
- ⑤ 利用者から受けたハラスメント、セクハラ問題

前例がない。
だから、やる。

日中両国は、共に高齢化社会に直面しており、介護人材の育成と確保が重要な課題となっています。今後は、更なる待遇改善や職業としての魅力向上・発信、国際的な人材の交流の促進など、多角的なアプローチが必要とされます。

- ・ 中間管理職の育成、交流
- ・ 現場の意識改革
- ・ 包括的な教育プログラムの充実
- ・ AIや技術の導入
- ・ 在留資格の増設と家族帯同の可能性拡大

前例がない。
だから、やる。

引用・参考文献



Crossheart

- ・厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/12004000/001274769.pdf>

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/dl/link1-1.pdf

前例がない。
だから、やる。

ご清聴ありがとうございました



Crossheart



前例がない。
だから、やる。